



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S
The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「一つとなる力」	“The Power of One”
アジア地域会長主題	「一つとなる力」	“The Power of One”
西日本区理事主題	「すべてのいのちを大切に」	“Love & Care for All the Living Things”
中部部長主題	「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」	
金沢クラブ会長主題	「クラブの活性化に努める」	

6 月間強調

2010

評価・計画

今月の聖句

終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。
 コリントの信徒への手紙二 13章11節

6月強調月間

今年度の評価反省を的確にまとめて、やりたいことと出来ることを見つけましょう。そこから次の計画が生まれるでしょう。
 鈴木誠也理事（神戸ポートクラブ）

6月例会プログラム

とき 2010年6月17日 (Thu.) 18:30~20:30
 ところ 金沢ニューグランドホテル

	司会	山谷 澄君
開会・点鐘	数澤	会長
主 題	司 会 者	
ワイズ・ソング	一	同
今月の聖句	司 会 者	
ハッピーバースデー	数澤	会長
食前の感謝	伊藤	仁信君
~~~~~	会 食	~~~~~
スピーチ	数澤	会長
		「2009~2010 評価と反省」
委員会報告	各 委 員	
ニコニコタイム	幸正	一誠君
YMCAの歌	一	同
閉会・点鐘	数澤	会長

### 5月 クラブ活動状況

**第1例会** (5月20日 Thu.)  
 メ ン：影山、数澤、高口、幸正、澁谷、山谷、伊藤 (メイキャブ) (7名)  
 出席率：77.8 %  
 メネット：数澤、高口、山内、山谷 (4名)  
 ゲスト：斎藤 (1名)  
 広義会員・功労会員：なし

**第2例会** (5月1日 Sat.)  
 メ ン：伊藤、数澤、澁谷 (3名)  
 メネット：山内 (1名)

**ニコニコタイム** 8,000円  
 クラブファンド 累計 114,370円

**BFポイント**  
 切手 1.3 kg 累計 1.3 kg  
 現金 18,150円 累計 18,150円

会 長	数澤 輝夫	書 記	幸正 一誠
副会長	山内 健司	会 計	澁谷洋太郎
	高口 昇	メネット会長	山内ミハル
直前会長	伊藤 仁信		

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30  
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311  
 第二例会：毎月1日 18:30~20:00  
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

## 2010～2011 中部部長方針・活動計画

中部部長 澁谷 洋太郎

### 1 部長主題

「ワイズは フェイス to フェイス！」

(コミュニケーションは顔をみて声をかけて)

### 2 活動方針

#### I メンバー増強

今のワイズメンズクラブは「増強」に力を合わせなければ、明日はありません。危機感をもって全員一致してメンバーを「増強」しましょう。

#### II 顔と顔を、目と目を、声と声を合わせて仲間の交流を密に。

#### III 次次期理事の成瀬晃三ワイズ支援体制の構築。

### 3 活動計画

#### I YMCA サービス・ユース事業 (ユースに語り継ごうワイズの夢！)

YMCA も運動・活動を継続するためには、メンバーの増強です。名古屋Y、三重Y、金沢Yそして富山Yのために力を貸しましょう。

#### II 地域奉仕・環境事業 (一歩前に踏み出そう、地域と共に)

区からの支援をうけられるように、奉仕活動を活性化しましょう。

#### III EMC事業(限りなきワイズの拡がりをもとめて)

「メンバー増強」を合言葉に、中部200への足がかりを！

#### IV ファンド事業 (ワイズの発展に貢献することで)

ワイズに資金は大切です。しっかりと自覚をもって協力しましょう。

#### V 交流事業 (ふれあいあってこそワイズ)

横浜国際大会を機にグローバルな展開を。IBC・DBCの推進を。

#### VI 広報事業{広めよう、ワイズスピリットを胸に}もっと、楽しいワイズをアピールしていきましょう。

#### VII メネット事業{愛の心、原点に立ち返って私たちに出来ること}

クラブ例会にメネットが参加できるように、知恵をしばりましょう。

### 4 部行事予定

部会 開催日：2010年10月2日(土)

場所：金沢ニューグランドホテル

評議会 年2回 10月 3月

部報発行 年2回

### 5 その他の計画・特記事項

名古屋南山クラブ 40周年記念例会

根の上高原祭り チャリティラン

名古屋地区楽例会 金沢わいわい寄席

合同例会を支援。

## 2009～2010 評価・反省

### 金沢クラブ会長 数澤輝夫

会長主題は「クラブの活性化に努める」としました。

クラブ目標を3本柱し、第一は会員増強、第二はクラブ例会の出席率向上、第三はDBCの締結でした。

第一の会員増強は、目標数値を5名と掲げたが、新会員はなしで終わりました。現在会員は11名(功労会員1名、広義会員1名を含む)を維持している。

第二のクラブ例会出席率は、月平均87.1%に留まった。現状を認識して会員を増強するために、各自の創意工夫と努力とに期待したい。

第三のDBC締結である。現在、西日本区滋賀蒲生野クラブとDBC関係にある東日本区富士宮クラブと金沢クラブとのDBC締結は出来ませんでした。今後は、富士宮クラブと金沢クラブとの交流を密接にし親睦を深めつつ、DBC締結に向かって前進したい。この3クラブのトライアングルを目指して、友好的な活動ができることを信じて是非とも実現したい。金沢クラブの未来には夢と希望とを持ちたい。主なる活動状況は、次のとおりである。

◎10月22日県立音楽堂交流ホールに於いて、「第7回金沢わいわい寄席」開催を実施した。施設の子供たちを招待して、参加者153名で寄席の楽しさを互いに分かち合い成功裏に終わることができました。このときの純益金15万円を、12月17日クリスマス例会の席上で、金沢YMCA青少年活動のために、澁谷実行委員長から朝倉理事長に贈呈を行った。

◎11月22日中央公民会長町館に於いて、「ながまちふれあいフェスティバル」に参加して、日本YMCA同盟よりYMCAの海外災害復旧活動パネルを借用並びに金沢YMCA青少年の活動状況及び金沢クラブ・金沢犀川クラブの活動状況を展示して、それぞれのアピールを行いました。

◎12月17日クリスマス例会にゲストを招待し、始めに日本基督教団金沢教会阿部倫太郎伝道師より「わたしたちのクリスマス」と題してクリスマスメッセージがあり、参加者23名(ゲスト7名を含む)で親睦とゲームとで楽しいひと時を過ごしました。

## 5月例会の報告

主題 「大事にしたい日本の文字」

スピーカー 書家 斎藤 千佳子(千霞)氏

5月の卓話担当としてのプレッシャーのなか、講話をして頂ける方を探していたが、いつもの通り我がメネットの世話になる事になった。メネットの旧友の紹介を受けて、金沢教会の近く旧友がオーナーの「茶房犀せい」で教えている教室にお邪魔して、スピーカーの依頼をした時が最初でした。4月のブリテンを片手にメネットと少し緊張しながら、お願いをしたところ、気さくに「私で良ければ・・・」と快諾して戴きました。先生は「筆ペン教室」草分けとして各地の教室を東奔西走されています。また毎年「金沢琵琶と邦楽の会」に参画され、「書パフォーマンス」として賛助出演されるなど溘瀨とご活躍されています。「書」にかかわる際は何時も着物をお召しになっているそうです。ちなみに例会の日の帯の様子は「ショパンの楽譜」がデザインされたお洒落な感じのものでした。

当日、先生から全員に「筆ペン」・「芳名帳用紙」まで頂き、俄か「筆ペン教室」が開講され、楽しい出会いのひと時となりました。

### 「スピーチの要旨」

#### 「着物を着る」

皆様が今日会えてよかったと言って頂ける例会になれば思っていますがどうなる事でしょうか・・・。最近パソコン全盛で「字を書く」と云うより、「字を打つ」時代になっています。日本人ですから筆で字を書いてみようという機会になってもらえばと思っています。

最近着物を着る人も少ないし、筆で字を書く人も少なくなった。それならば教室で字を教える時は着物姿でと思ひそのようにしています。

#### 「筆ペン教室」

始めたきっかけは、実用的で間に合う手軽な書道と云う事で15年前に「カルチャーセンター」へ提案しました。その当時は「書道教室」は沢山ありましたが筆ペン教室は初めての教室でした。次第に人気教室に



なるにつれ、他の先生達から揶揄され辛い時期もありましたが、今では多くの方から「こんな教室を探していた」と言って頂けて有難いと思っています。

#### 「字を書く基本」

字は伝達的手段ですから誰でも気持ち良く読める字を書きたいと思っています。今日は何をしようかと考えましたが、何事も習い事の初めは「いろは」からといますから、「いろは」を用意してきました。ひらがなのルーツは漢字ですから、元になっている漢字の形を見ながら書くと良いと思います。「いろはにはほとちりぬるを・・・」には意味があり、弘法大師の作品といわれるいろは歌「色は匂えど散りぬるを我が世誰ぞ常ならむ有為の奥山今日越えて浅き夢みし酔ひもせず」は48文字全てを重ならず人生を詠った歌は素晴らしいと思います。この他に明治になって作られた48文字全てを使った鳥鳴歌(とりなくうた)もあります。

[この後、いろは歌・鳥鳴歌の意味、解説をお聞きしました]

#### 「筆ペンワイズ教室開講」

お話の後、先生から頂いた筆ペンを使い芳名帳に各自の名前を書き、懐かしい朱色でお手本を一人ひとりに書いて頂き、賑やかな俄か教室は閉講しました。



「相手を読みやすい字を書くこと」「バランスの良い美しい文字を心がける」をしっかり学び、来年の年賀状は是非、筆ペンで・・・。(文責 高口 昇)

## ~~~~~お知らせ~~~~~

### ☆EMC目標

目標数は5名です。全員でアタック、目標達成を目指して頑張りましょう！

### ☆第13回西日本区大会

日時 2010年6月12日(土)～13日(日)  
場所 広島国際会議場・リーガロイヤルホテル  
参加予定 伊藤、数澤、澁谷  
メネット 伊藤、数澤、澁谷

### ☆第69回ワイズメンズクラブ国際協会・国際大会

日時 2010年8月5日(木)～8日(日)

場 所 パシフィコ横浜 (横浜市)

参加予定 メン 数澤、澁谷

ネット 数澤

### Happy Birthday

メン	伊藤 仁信 君	6月 3日
	草野 功一 君	6月 11日
	高口 昇 君	6月 28日
ネット	斎藤 千代さん	6月 7日
	影山フミエさん	6月 15日

~~~~~ YMCA だより ~~~~~

☆早天祈祷会

日 時 7月1日 (木) 6:00~7:00

場 所 金沢 YMCA 集会室

奨 励 朝倉秀之理事長

7月の担当

7月ブリテン執筆 : 数澤 輝夫 君
山内ミハルさん
7月卓 話 担 当 : 数澤 輝夫 君

~~~~~ ネット 報 ~~~~~

骨折り損の・・・

これまでに三回骨折をして、それも足ばかり左、右、左と。忘れもしない小学四年生の夏、浅の川が氾濫し常盤橋、梅の橋は勿論鉄筋で出来ていた天神橋さえもぐんなりと真ん中が落ち、Vの字になった年、夏休みを三重県津市で過ごし、デパートの屋上で従兄弟が運転していたゴーカートのブレーキが故障していて私めがけてぶつかり左足を骨折してしまいました。見る見る腫れ上がり病院で石膏(ギブス)をはめられてしまった。

金沢に戻るのに汽車(電車)で二度の乗り換えがあり、階段を上り下りが出来なくて鉄道員の人に負ぶされ線路を横断した事を思い出す。

二度目の骨折は今から 15~16 年前、近所の子供が毎朝幼稚園へ行く前から我が家へ遊びに来ていて、手をつなぎ階段を下りていた時、右足の指が段にひっかかり巨体の重みが指に・・・ポキリ、その時もある見る腫れて一歩も歩けない状態となった。病院へやっとの事を出掛けたが、帰りにはテーピング治療でスイスイ歩いて戻る事ができた。そして三度目の今回は昨年 10月 18日、18時頃あたりはもう暗く、予定より遅くなった事で気忙しく、スーパーの前でバスを下りた私は、スーパーの駐車場を携帯片手にメンに迎えを頼みながら 2・3 歩、瞬間前のめりにボタンと無残な格好で倒れてしまった。携帯は飛び散り一瞬何が起きたのか・・・周りにいた人達からは「大丈夫か・・・」「救急車・・・」との声でしたが、すくっと立ち上がり

大丈夫ですと普通に歩きスーパーの中に入った。駐車場の車止めのブロックにつまづいたのだった。不思議と痛みは感じない、メンには絶対言わないでおこうと決めて待ち合わせ場所に行き、車に乗ろうとした途端左足が車に上がらない。まるっきり自分の足ではないような、先程まで感じなかった痛みか尋常じゃない。

これでは言わないわけにいかず事の次第を話す。しかし一向に腫れ上がらない、私は二度の骨折経験から骨折すれば腫れ上がるものと思い、打撲ですんだとひと安心したのだが痛みは一晩眠れないものとなり、日曜日の夜だったので明朝病院へ行く事にし、ソファに背を預け一晩過ごした。病院でレントゲン、MRIの結果、手術一歩手前の骨折と診断され、足の付け根から指が少し出るところまでギブスで固定され、松葉杖の訓練を受け帰宅した。それから 2ヶ月不自由さ、ギブスの重さは言うに及ばずバランスがとれずにひっくり返る、シャワーを浴びるにも体を傾けてゴミ袋で養生したギブスの足が濡れないようにしなければならずそのせいで背中、腰が痛む事、それにも増して辛いのはギブスの中が痒くて堪らない、メンがクリーニングのハンガーを伸ばし作ってくれた物も肝心な所までは届かず、病院で膝の裏あたりを開けてもらった。2ヶ月が過ぎ2度のレントゲンとMRIを経てやっとギブスがはずれ、今度はサポーターをつけることになった。そのサポーターがまた皮膚に合わず痒くてたまらない。それにサポーターの両側についている革の固定材が痛く、寝返りを打つ度に目が覚めて睡眠不足が続き、その間週 2~3 回はリハビリに通った。やっと長いトンネルをぬけて友人達と快気祝いと称しシャンパンで乾杯をした。シャンパンで乾杯をした日の夜、祝ってくれた友人の一人が私と同じ左足を骨折し、まるっきり同じギブス姿の足を写メールで送信してきた。貴女の後について行きますと・・・ああ～なんて事!とあまりの事に笑ってしまったが、笑い事ではない彼女もこれから不自由な生活を強いられるのだと、ご同情申し上げますと返信した。

(高口 紀子 記)